

深田公園のきのこ曼荼羅

秋山弘之（ひとはく地域研究員）

兵庫県立人と自然の博物館の建物の周りに広がる深田公園の林と芝生広場を観察場所として、1996年から約30年にわたり出現するキノコを見てきました。

深田公園のキノコ達の「色彩」と「形」に注目して一枚のポスターに仕上げ、その多様性が一目で分かるようにしたのが今回展示した「きのこ曼荼羅」です。すべてのキノコは、深田公園やブイブイの森などフラワータウンを取り巻く林に出現した種類です。

ポスターでは中央部の文字に従って色別に区分けしています。茶色や小型のキノコ、そして調べても名前が不明だったキノコもたくさんありますが、それらは今回掲載していません。それでも合計61種になります。

取り上げたキノコを色別に示すと以下の通りになります（あいうえお順）。

赤：アカヌマベニタケ、タマゴタケ、ドクベニタケ、ハナオチバタケ、ベニイグチ、ベニナギナタタケ、ベニヒガサ

橙：アカイボカサタケ、アカヤマドリ、ダイダイイグチ、ヒイロタケ、ヒイロハリタケ、ヒメカバイロタケ

黄：アキヤマタケ、ウコンハツ、キイロイグチ、タマアセタケ、ナラタケモドキ、ベニヒダタケ、ヒナノヒガサ、モエギビョウタケ、ヨゴレキアミアシイグチ

紫：ウスフジフウセンタケ、ウラムラサキ、カワムラフウセンタケ、ハカワラタケ、ムラサキアブラシメジモドキ、ムラサキシメジ、ムラサキフウセンタケ、ムラサキホウキタケ

青：コンイロイッポンシメジ、ソライロタケ

緑：アイタケ、カワリハツ、モエギタケ、ワカクサタケ、ロクショウグサレキン

黒：アクイロウスタケ、オニイグチモドキ、カワラタケ、クロコブタケ、クロハツ、クロラップタケ、コキイロウラベニタケ、ササクレヒトヨタケ、テングノメシガイ

白：イヌセンボンタケ、ウスヒラタケ、オオシロカラカサタケ、クジラタケ、コオトメノカサ、シロイボカサタケ、シロオニタケ、シロソウメンタケ、シロテングタケ、ドクツルタケ

変な形：サンコタケ、スッポンタケ、ツチグリ、トガリアミガサタケ、ヤグラタケ

